

## 第2回島田市総合計画審議会 会議要録

### 1 日時

平成28年6月20日（月）19:00～20:50

### 2 場所

島田市役所 4F 第三委員会室（南・北）

### 3 出席者

委員：朝比奈委員、石間委員、大石委員、小倉委員、掛澤委員、五條委員、佐久間委員、白瀧委員、杉本委員、園部委員、谷委員、名取委員、根本委員、村田委員（五十音順）

事務局：牛尾理事、鈴木市長戦略部長、田中戦略推進課長、駒形係長、小野係長、大和田、福山、太田原

傍聴者 4名

### 4 内容

（根本会長あいさつ）

- ・遅い時間にも関わらず参集いただき感謝する。
- ・本日も資料が多岐に渡っている。皆さんの忌憚のないご意見を願います。

（事務局紹介）

4月1日より異動：牛尾理事・鈴木市長戦略部長・田中戦略推進課長・小野係長・太田原（地方創生）・大和田（政策企画）

（議題）

（1）第2次島田市総合計画策定方針について

資料1に基づき、田中戦略推進課長より説明

【質疑応答】

会長：皆さんからご意見やご質問があればお願いしたい。

A 委員：確認であるが、この策定方針は公表するのか。

事務局：公表する予定。

A 委員：2頁からの3. 第2次島田市総合計画の基本的な考え方だが、8つ併記で分かりにくいので再分類した方がいい。

私なりの解釈だが、①は人口減少、少子高齢化への対応で、その後の②市民意見の収集、③多様な主体との連携は手段のこと、さらに④、⑦、⑧番も手法のことを言っている。⑤想定外に対応できるシステムの構築は別口。そのように整理されたらよろしいのではないか。⑥地区別計画の策定は考え方でいうのではなく、つくることを宣言すればいいだけではないか。

公表するのであれば、例えば1頁の2. 第2次島田市総合計画の構成と期間、○実施計画の説明中の「ローリング方式」は用語解説が必要だろう。同じく3頁、④の文中、「トータルコーディネート」なども見直しが必要だろう。

田中課長：十分見直しをさせていただく。

会 長：全体の構成としては、項目の1番、2番は制度の成り立ちを説明しており、3番の①から⑧までで「方針」が書かれている。4番は手順やスケジュールということになっている。3番が方針の中身であり、その他は構成や手順を書いているということになるかと思う。

副 会 長：前回資料にあった後期基本計画もそうであるが、組み立てとしては、島田市が何を目指すのか、という「理念」があって、どのような計画にするか、という作り方を示すものではないか。この策定方針についても、島田市を何処にもっていくのか、市長とか市が考える部分（理念）が必要だと思った。

B 委 員：現総合計画事項の成果や達成度を明確にすべきではないか。それらがあって、次の計画の方針がつけられるものだと思う。

会 長：今のご意見をふまえて論点の整理をしておきたい。策定方針の最後、スケジュール案を御覧頂くと、表の左上に項目として現行計画の評価と書かれており、ご指摘のように現計画の評価の上で次の計画の検討に入る流れになっている。また、基本構想には市の理念や将来像を位置づけていく。現総合計画の成果や達成度の明確化は当然大事な内容であるが、本日の議題としてはこの計画の「作り方」である。理念等の中身については次回以降でお願いしたい。

副 会 長：1頁、1. 第2次島田市総合計画の策定に向けての文中、「人口減少社会を受け入れながらそれを克服し、右肩上がりではない社会経済状況…」と記載があるが、2頁、3. 第2次島田市総合計画の基本的な考え方、①の文中では、「人口減少・少子超高齢社会に突入し、右肩上がりの経済成長を見込めない…」とある。どちらかの表現に統一した方がいいのではないか。

田中課長：今すぐどちらかの表現にするか決めかねるが、表現は統一したい。

会 長：細かいところだが大事な指摘である。表現を調整して頂き、また、今後何もかも二度と上がらないというのも言い過ぎだと思う。高度経済成長期の如く年 10%上昇ということは無いが、全ての指標が未来永劫絶対上がらないということでもない。その辺も考えて言葉を選んで頂きたい。

(2) 平成 28 年度の島田市が目指す姿と現状課題について

資料 2 に基づき、大和田より説明

資料 3、資料 4 に基づき、小野係長より説明

資料 5-1、資料 5-2、資料 6 に基づき、福山より説明

資料 7 に基づき、駒形係長より説明

【質疑応答】

会 長：大変多い内容となったが、どこからでも結構なので、ご意見・ご質問をお願いします。

副 会 長：資料 2 の実施計画書の 50 頁、「【新規】病院情報システム更新事業」について、平成 29 年度、平成 30 年度の記載が無いが、新しい病院になった際にも引き継がれるとうことか。

駒形係長：新病院にもシステムは引き継がれる。

会 長：私から情報提供させて頂くと、まず資料 2 は、今生きている計画の実実施計画であり、事業ごとの予算が記載されている。見開き構成の右頁、各欄右上が予算でその下に成果目標があるが、この右側の欄が大事。この目標指標には通常、アウトプットとアウトカムという概念が使われている。主に各事業の実施量がアウトプットで、それらの実行によりどのような成果に結びついたかを計るのがアウトカムということになる。実施計画の指標としてはアウトプットが中心。今回の資料 5-1、5-2 のアンケート結果に示される市民の満足度といったところがアウトカムとして用いられる。そういったところを踏まえて資料を御覧頂きたい。

B 委 員：資料 3 の関係で、「人口ビジョン」の内容は全国各都市のものが確認できるのか。例えば県下なら長泉町。人口が増えているのは何故なのか、ベットタウン、子育て支援の充実、生活インフラが整っているから、というような要因、また都市の立地特性などから、成功例とその条件的なことを参考として整理できないのか。

会 長：基本的に今後の資料として使えるものがあれば、手際よくお纏め頂き提示をお願いしたい。(自分も提供できそうな資料を確認したい)  
本日残り時間の関係から一問一答というのは厳しいと考える。むしろ何か注文をつけて頂くようなことでも結構である。

C 委員：資料5-1について、回答者の割合として60歳台以上が50%以上、居住年数20年以上が80%だが、これは島田市の実人口の構成と同様なのか。今回アンケートで居住年数の短い方の回答が無かったとすると、その方々が何故アンケートに回答しなかったかが1つの大きなヒントになると思う。現状、行政として市民の意向をふまえた施策実施がなされているはずだが、受け手となる市民の意見がそもそもあがっていないということも考えられる。

資料4、中段の「ひと」欄にある、「自然動態の増加」に関する施策が4つ列記されているが、実はその前段階が必要だと思う。子ども時代の育成環境での、男女間の平等、理想の夫婦像、地域の大人達との関わり合いとったところに力を入れるべきだと考える。成人してからの対応では遅いという面がある。

会 長：アンケートについてはサンプルの偏りがどうなのか、回答率が著しく低いカテゴリーがあった場合、その方々は何を考えているのか知りたいということ。資料4の内容についてはご意見として受けとめて頂きたい。

D 委員：資料2、18頁、「【新規】ブロードバンド整備検討事業」については調査のみということなのか。

駒形係長：調査費100万円が計上されている。実事業費は未計上。

E 委員：資料7に関係して、市の産業の衰退というのは大変ことになる。今後計画事項としても取り上げて行って欲しい。

市民の意見を聞くのは有難いところだが、タイミングを間違えると市民も混乱するので、市の方針を決めてポイントをはっきりさせてやって行って欲しい。

F 委員：資料2、2頁に計画事項が柱立てされているが、どこでもやられているような内容に見える。こういった中に島田市独自のものが出ないのか。

資料5-1について、自由回答欄を見ているとやはり高齢者の回答が多く、30~40歳代は少ないと見える。また若い世代では男性より女性の回答が多いようだ。子育て世代ではこういった意見を寄せる傾向が高いという印象。島田市の独自性をもう少し打ち出していくこと、またもう少し若い世代の意見をとり入れていく必要があると思う。

副 会 長：資料5-1、45頁以降に平成27年度結果からのポートフォリオ分析結果が掲載されているが、経年変化の図表として表せる部分で、この満足度が思いきり上昇するような施策実施、何かひとつでもふたつでもいい。全国から注目される位のそういった内容が位置づけられるようにしていきたい。

会 長：本日資料内容に関して、本会議以降でもご意見等あったらぜひ事務局まで寄せて頂きたい。

本日のように情報全般を包み隠さず提示されることは情報共有上大事であるが、今後議論していく上では（3回目以降）、例えば大きく変動したような要素等をピックアップしてもらい、ポイントを絞って議論できるような資料作成をお願いしたい。

（その他 事務局より）

- ・第2次総合計画策定支援業務委託事業者の選定について報告（選定先ランドブレイン株式会社）
- ・次回審議会開催（8月末～9月上旬）、本日も指摘のあったポイントを絞った議論に応じた資料作成と次回開催に用いる資料の事前送付について確認

20：50 会議終了